

LBカバー（EPS軽量盛土工法壁面材）

国土交通省 NETIS（新技術情報提供システム）掲載期間終了

従来の EPS 軽量盛土工法では、H型鋼の支柱間に壁面材を並べ保護層を設けていました。「LB カバー」は、従来の工法に比べて工事費や工期を削減するとともに、作業の安全性を確保したプレキャスト超軽量盛土用自立壁面材です。

特 長

1. 優れた施工性

壁面は、最大で6㎡/枚と広く、さらには製品単体でも自立するため、従来工法に比べ施工スピードが大幅に向上します。また、軽量盛土上部に設ける防護柵基礎を『Gベース』と組み合わせて頂くことでさらに施工性の向上が図れます。

2. 確かな安全性

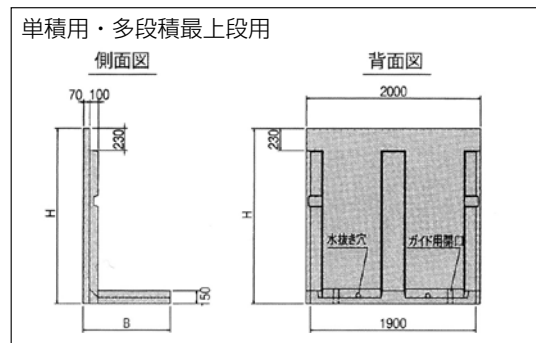
施工時には、谷側に足場工の設置も不要で EPS の設置に合わせた壁面部材の設置が可能のため安全に安心して作業していただけます。さらには、ブロックは自立し、製品相互は、専用プレートにて接合を行うため、特殊な作業を必要としません。

3. 高い経済性

従来のH鋼建て込み式に比べて、足場工等の仮設工も不要となり、20%の工事費削減が実現できます。



区 分	規 格	寸 法 (mm)		参考質量 (kg)
		H	B	
単積用 下段用	H-1000	980	750	695
	H-1500	1,480		940
	H-2000	1,980		1,185
	H-2500	2,480		1,440
	H-3000	2,980		1,685
上段用 中段用	H-1000	980	1,000	800
	H-1500	1,480	1,250	1,145
	H-2000	1,980	1,250	1,395
	H-2500	2,480	1,500	1,760
	H-3000	2,980	1,750	2,115



他工法との比較

工 法	LBカバー工法	H型鋼支柱+壁面材		
施工断面図				
構 造 性	・プレキャスト製自立壁	◎	・垂鉛メッキH型鋼+プレキャスト版	◎
耐 久 性	・鉄筋コンクリート製であるため良い。	◎	・押出成型セメント版のため、凍結融解対策が必要。	×
安 定 性	・中間床版と一体化する。 ・中間床版上の水は速やかに外部へ排出。	◎	・中間床版とH型鋼の連結は特殊な加工。 (中間床版施工時にアンカー等が必要) ・中間床版上の水は壁面材内面を流れ落ちる。	△
維 持 管 理 面	・コンクリート製のため補修が容易。	◎	・押出成型セメント版の場合は不可能。	×
経 済 性 (工 事 費)	80%	◎	100%	○
施 工 性 (壁面材施工歩掛り)	60㎡/日 製品は標準で6㎡/枚で自立する。	◎	40㎡/日 製品は1㎡/枚で、吊りながらの固定が必要。	○
安 定 性	・製品は自立する。 ・基礎コンクリート上に製品を設置するのみ。	◎	・壁面材は吊りながらの金具固定が可能。 ・基礎上に壁高のH型鋼の建て込みが必要。 ・壁面材設置時は高所作業車または足場工が必要。	△
総 合 評 価	◎		△	